

ダニエル・カールの

聞きたい! 消防団

第22回

三重県伊賀市消防団

今回は、東京から新幹線、近鉄線、伊賀鉄道を乗り継いで約5時間をかけ、忍者の里として有名な三重県の伊賀市をお訪ねしました。

伊賀市消防団は、平成28年10月に長野県で開催された第25回全国消防操法大会小型ポンプの部で優勝されました。また、県外の訓練にも参加されるなど、積極的に活動されているそうです。

そんな熱意溢れる伊賀市消防団の皆さんから、操法大会に向けての取組や女性部の活動などについてお尋ねしたいと思います。

それでは、伊賀市消防団の奥伸也団長、杉本佳也副団長、田森友美副団長、松山彰宏団長、伊賀市消防団女性部の大北薫部長、伊賀市消防本部消防救急課の吉川泉課長からお話を伺いましょう。



前列左から、松山副団長、杉本副団長、奥団長、ダニエル・カール、久保消防長、田森副団長
後列左から、消防救急課の戴主査、吉川課長、大北女性部長（伊賀市消防本部で撮影）

伊賀市の概要について

ダニエル まずは伊賀市の概要を教えてください。

吉川課長 伊賀市は、三重県の北西部にあります。平成16年11月1日に上野市、伊賀町、阿山町、島ヶ原村、大山田村、青山町といった6つの旧市町村が合併して伊賀市が誕生しました。

人口は、およそ93,300人。東西に30キロ、南北に40キロの縦長で、面積は、約558キロ平米です。

大阪圏、名古屋圏の2大都市の中間にあります。伊賀市を横断する名阪国道自動車専用道路がありますが、ちょうどそれぞれ1時間余りの距離となっております。

伊賀地域は、四方を山々に囲まれた盆地で、自然に恵まれています。京都や奈良、それから伊勢を結ぶ大和街道や伊勢伊賀街道、初瀬街道がございまして、都に隣接する立地から、交通の要所として、江戸時代には藤堂家の城下町、伊勢神宮への参宮者の宿場町として栄えてきました。また、京都や大和の文化の影響を強く受けながらも独自の自然文化を醸成しまして、伊賀流忍者や俳聖松尾芭蕉のふるさととして歴史文化の息づく地域となっております。

伊賀の名産としましては、伊賀牛や伊賀米というおいしいお米、その米を活かした地酒、伊賀焼などがございます。



周囲を山々に囲まれた伊賀の風景

ダニエル ありがとうございます。観光財産が豊富なんですね。伊賀牛や伊賀焼のポスターもたくさん見かけました。それからなんとお酒もおいしいんですね。すごく魅力のある町ですね。

伊賀市消防団の概要について

ダニエル 伊賀市消防団の概要を教えてください。

奥団長 伊賀市消防団は、平成29年4月1日現在、1本部10分団39部、定数1,510名、実員1,492名で運営しております。その中に女性団員が18人おります。

昔は、上野市、伊賀町、阿山町、島ヶ原村、大山田村、青山町と分かれていましたが、旧市町村の合併に伴い、伊賀市消防団が誕生しました。合併当初は1団が6方面隊に分かれていたのですが、平成25年に整理いたしまして、10分団という体制に編成されました。それ以降、動きが取りやすく、指揮命令系統がはっきりできるようになり、今に至っております。

ダニエル まったく新しい形になったんですね。(旧市町村が)合併されたのは何年くらい前でしたか？

奥団長 ちょうど10年前ですね。

幹部が仲良くなるまで

ダニエル 当時は大変だったのではないですか？

奥団長 そうですね。みんなそれぞれ「おらが村の、おらが町の、おらが市の消防団」という意識があって、よくケンカしました。

田森副団長 どうにかしてコミュニケーションを取っていこうと模索してきて、やっと今に至っているという状態です。その間、つかみ合

いのケンカとかはなかったですけども、口論はいっぱいありました。やはり「おらが村」という6つが集まってできたところでしたから、最初は本当に難しかったです。

ダニエル 今はもう落ち着いたのですか？

奥団長 合併して分団制になったときに、「今のままでは駄目だ、仲良くやっていこう」という話し合いをして、今はしっかりとひとつにまとまっています。

ダニエル それはすばらしいですね。やはりそうした問題を乗り越えるために一番大切なのは、コミュニケーションなんですよ。



取材の様子

女性部の活動

ダニエル 伊賀市消防団で大いに活躍なさっている女性部の活動についても教えていただけますでしょうか。

大北女性部長 女性部は、平成25年の組織編制のときに作られました。平成25年4月に当初8名でスタートしたのですけれども、昨年多くの入団がありまして、現在は18名で活動しています。主な活動は、保育所、いきいきサロンなど、いろんなところから呼んでいただいて、普及員・指導員として救命講習を行ったり、防火防災の啓発活動を行ったりしております。

ダニエル ありがとうございます。女性部

が学校や幼稚園に行って、子どもたちの防火意識を高めるということも多いのですか？

大北女性部長 そうですね。防災クイズとか、ゲームとか、分かりやすい内容をみんなで考えています。ご年配の方に対しても子どもさんに対しても、取り組んでもらいやすい内容を心がけています。

ダニエル 寸劇とか紙芝居とかもやるんですか？

大北女性部長 はい。寸劇もしているので、防災指導よりも寸劇をしに来てほしいと言われるときもありまして、「あとから防災の内容を付けたす」ということが多々あります(笑)

ダニエル 俺の親父もアメリカで消防士をしていたのですが、消防署ではいろいろなことをしなければならなかったんです。女性部はなかったので、親父があちこちの学校を回って、子どもたちを脅すみたいな感じで、「火事になったらえらいことですよ」と怖がらせてやっていたのです。日本のやり方はいいと思ったのは、ハード面もちろんだけれども、ソフト面もすごく優れていてところで、本当に感動しました。これからも頑張ってください。



女性部のPR展示

防災対策など

ダニエル この辺で一番心配な災害はなんですか？

奥団長 台風ですね。

ダニエル 過去に被害のあった台風で印象的なものを教えてください。

奥団長 平成26年の台風第11号では、三重県や奈良県を中心に、紀伊半島全体が被害を受けました。

ダニエル 伊賀市も被害にあわれたんですか。

奥団長 そうですね。まず風より雨にやられまして。河川が増水しました。

ダニエル 冠水とかは？

奥団長 冠水被害もたくさん出ました。

ダニエル 消防団の皆さんはどんな活動をなさったのですか？

奥団長 伊賀市の消防団員はたくさんおりますので、まずそれぞれの地区で避難誘導に当たりました。

ダニエル 救助用ボートは使われましたか？

田森副団長 救助用ボートは署から出していただきまして、数名ほど救助しましたね。

杉本副団長 伊賀上野駅の近くに浅子川という川があるのですが、その支流が増水したので、ご年配の住民の方を救助用ボートで救出して、避難所まで団員が誘導しました。

(消防団は) 大活躍でした。土のう積みもしましたし、道路に横たわった倒木をチェーンソーで切って、車両が通れるように復旧作業もしましたし、平成26年の台風第11号ときには団員総出で災害対応にあたりました。

ダニエル ちょうど川が何本か集まっているとところなのですね。地滑りとか土砂崩れも心

配ではないですか？

奥団長 急斜面が多いので心配です。土のうを積んで防御したり、シートを被せて対応したりしました。

ダニエル 地震の心配はどうですか？

奥団長 地震も心配です。近くに木津川断層が走ってしまして。

ダニエル 断層があるのですか。

奥団長 ほかに小さな断層がいっぱいあります。160年くらい前にも大きな地震がありました。

大北女性部長 伊賀上野地震です。

ダニエル 160年前というと江戸時代ですね。

松山副団長 関西本線が走っているのですが、ちょうどそこが断層帯になっています。

ダニエル それは心配ですね。忘れたころに来るものなのですよ、災害というものは。それに備えて訓練もしなければならぬし、いろいろな準備もしなければならぬ。

自然災害以外でも、消防団としてはなにより火事も心配ですよ。

奥団長 そうですね。消防団員としては、まずは予防消防を一番にお願いしています。(火災が起きたら) 消すのは当たり前ですが、「火を出さないようにしてください」という予防消防に力を入れています。

ダニエル そうですよ。歴史のある町なので、建物が密集している所もあるのですよね。

奥団長 あります。旧市街地は大変密集してしまして、長屋ばかりです。

ダニエル 隣の家に燃え移るんじゃないかとか、いろいろ心配ですね。だからポンプ操法の練習を一生懸命やっているのですよね。

奥団長 そうですね。

訓練について

ダニエル 訓練のことでお話を聞かせていただきたいのですが、去年でしたか、長野県で開催された全国消防操法大会の小型ポンプの部で優勝されたと伺いました。初めての優勝ですか？

奥団長 初めてです。

ダニエル すごいんですね。各地区で勝ち抜いたチームが全国からやって来るのだから、競争率はハンパではないですよね。長野県の大会会場は芝生でしたが、慣れない芝生の会場でも優勝されたのはすごいことですね。皆さん、やはりよく訓練なさっているのだなと思いました。

奥団長 みんな頑張ってくれましたね。

ダニエル 訓練は週に何回くらいするのですか？

松山副団長 最低週3回は練習します。

ダニエル お仕事をなさったあとに集まって訓練しているのですから、やはり熱心ですね。

奥団長 そうですね。

ダニエル 消防団員の皆さんはどんなお仕事をなさっている方が多いですか？

奥団長 サラリーマンの方が多いです。7割くらいサラリーマンですね。

ダニエル あとは自営業とか？

田森副団長 自営業と公務員です。



訓練の様子

操法大会優勝の秘訣

ダニエル そうなると、訓練の時間帯は？

奥団長 夜が中心になります。

ダニエル 夜だと、一番疲れ果てているときにやるわけですよね。これは大変ですね。

松山副団長 みんなで頑張ろうという意識が強かったですね。誰か一人欠けると、そこが歯抜けになって練習にならないのですが、選手が休みなく全員練習に来てくれたのが大きかったですね。調整も取りやすかったです。それで最後まで続けられたのかなと思います。

奥団長 4人の選手の練習のために、50人ほどの仲間の団員が毎回サポートにやってくるわけですから、選手の彼らも、「サポートに来てくれるみんなの気持ちを背負っている」というのがあるので、「やらなあかん」という気持ちになったのです。

消防団幹部としての心構え

奥団長 今、本当に団員のみなさんに一生懸命頑張ってもらっています。これからもそのモチベーションを持ち続けていけるように、まずわたしたち幹部が仲良くなかったらいけないと思っています。幹部同士の横のつながりをしっかりして、お互いにちゃんと情報交換をして、幹部がみんなを引っ張っていかないといいない。まずわたしたちが仲良くなって、そこからです。俺らが辞めたら終わり、というのでは困るので、消防団として良い状態をしっかりと継続できるようにすること。それがこれからのわたしたちの仕事かなと思います。仕込んでいくと言ったら失礼ですけども、どんどん若い世代に幹部になってもらって、わたしたちが築き上げてきた心意気を持ってもらえるような幹部を育てていかなければいけないと思って

います。

団員確保の取組

ダニエル 団員さんの平均年齢はどのくらいですか？

奥団長 35～36歳くらいじゃないでしょうか。

吉川課長 一番多い年代は30歳～34歳で、366名おります。35歳～39歳が286名。次に25歳～29歳が225名で、20代後半から30代後半くらいが多いです。

田森副団長 全国的にみると若いと思います。

ダニエル 例えばポンプ操法の大会に出ている方は若いなという感じがしました。

奥団長 若いですよ。(大会に出場した団員は)20代、30代でした。

ダニエル 定員を目指して新しい団員さんの確保も頑張っていると思うのですが、入ってきてくれますか？

奥団長 結構入ってきてくれていますね。

ダニエル どういうふうに募集しているのですか？

奥団長 各地区によっていろいろです。町のほうでは、自治会の人と一緒に入ってくださいとお願ひにあがる場所もありますし、地区によっていろいろです。俺が辞めるからあなたが入ってくださいね、と肩を叩いて代わっていくところもあれば、わたしを入れてください、というところもありますし。

ダニエル 積極的に宣伝する機会がありますか？ お祭りに参加したりとか。

奥団長 行けるところはどこでも出席して消防団のPRをしています。

また、今年から伊賀市消防団では、訓練指導部と広報部という新しい部会を作りまして、広

報として、活動内容をFacebookとかホームページにあげていこうという取組をしています。

ダニエル なるほど。インターネットを使ってPRするんですね。それは近代的ですね。やはり実際に見ると、活動内容が伝わりやすいし。カッコいいな、俺もやってみたいな、という気持ちが自然に湧いてきた人たちが自分から訪ねてくれるというようになればいいですね。

奥団長 そうですね。地元で訓練をしている様子も流すようにすれば、「あのおっちゃん、頑張ってるんや」ということも知ってもらえるので、そういうのを若い子に見てもらって、僕も入ろうかなというふうになればいいと思います。夢みたいな話なのですけども。

ダニエル TwitterとかFacebookは、若い人が見ますから、グッドアイデアですね。

女性部の皆さんはどうですか？

大北女性部長 女性部は男性と全然違うと思うのですが、伊賀市の場合は、元々婦人会というものがありました。でも、それが解散することになりました。そのときに、地元でせっかく集まっている繋がりを残せないかということで女性ばかりで防災支援隊というものを作ったのです。主に炊き出しをするグループでした。

そういった活動をしていましたら、「女性部というのを消防団で作るのどうですか」と団長さんから声をかけてもらって。それで私も活動してみたいということで入らせてもらいました。

ダニエル 最近になって女性団員が増えているとお伺いしましたが、女性部の前身としては婦人会があったんですね。

大北女性部長 もともととはそうです。あとは友だちとかに声をかけて徐々に人数が増えていきました。

ダニエル 少しずつ変わってきて今は活発な女性部になったのですね。

対談を終えて

伊賀市には学生時代から何度か訪問しましたが、忍者やお城、だんじり祭りといった観光資源に加え、伊賀牛や地酒といった名産品など、魅力に満ちた町だとあらためて気づかされました。

まず幹部の方同士が仲良くなることで、分団同士、団員同士の結束が強くなっていくとお話されていたとおり、皆さんの和気藹々とした雰囲気伝わってきました。これからも団員同士仲良く頑張ってもらいたいですね。

伊賀市消防団の皆さんのいっそうのご活躍をお祈りいたします。
(ダニエル・カール)

